



Japan Association of Health Industry Distributors

第11回医療機器の流通改善に関する懇談会

令和8年3月30日(月)

資料3

# 第11回 医療機器の流通改善に関する懇談会

## I. 前回流改懇の振り返り

2026年3月30日

一般社団法人

日本医療機器販売業協会（医器販協）

# 1. 物流2024年問題の影響について経過①

## 【振り返り】 物流2024年問題の影響について

- ✓ 第9回・10回流改懇において、物流の2024年問題が医療機器物流に及ぼす影響について課題の整理および議論が行われた
- ✓ 課題への対応として、厚生労働省より通知『**医療機器に係る物流2024年問題等により生じうる課題と対応策について**』※が発出された
- ✓ 通知を受け、医療機関および販売業者に示された事項を中心に、**医器販協会員企業を対象として2度のアンケート調査を実施**した

※1 医政産情企発1214第1号 厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課長通知（2023年12月14日）

## ➤ 会員企業へのアンケート集計結果より

### <物流2024年問題の影響についてアンケート>

回答方法：WEB回答方式（FAXやメールによる回答も可）

#### 【第1回】 2024年8月実施

- 対象企業：医器販協の理事・監事会社36社
- 回答企業：**36社（回収率100%）**

#### 【第2回】 2025年2月実施

- 対象企業：医器販協の理事・監事会社36社
- 回答企業：**35社（回収率97%）**

# 1. 物流2024年問題の影響について経過②

2024年問題に起因

すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
			製販/運送	販売	医療
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配送に係るリードタイムが長期化する</li> </ul>	1	<p>【配送リードタイム延長を加味した早期発注】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の運用と比較して、医療機器の配送/納品に長いリードタイムがかかるため、<b>医療機関等がリードタイムを加味し、1日でも早い発注をすることにより、医療機器の安定供給を維持することが可能となる</b></li> </ul>	.	✓	✓

2024年4月に向けて取りうる対応策 (1/2)

物流2024年問題により医療機器業界において生じうる課題に対し、以下のような対応策が考えられるのではないが、

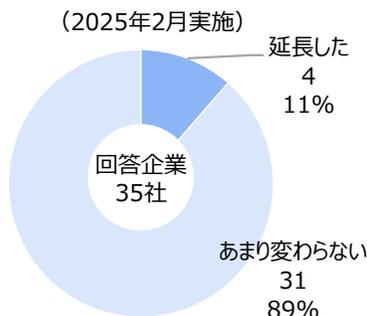
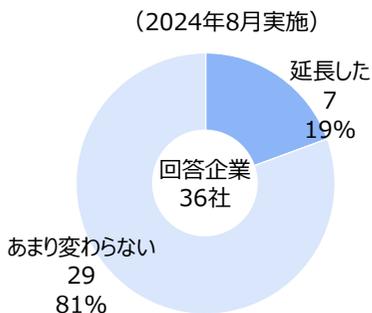
すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
			製販/運送	販売	医療
①	1	【配送リードタイム延長を加味した早期発注】 現在の運用と比較して、医療機器の配送/納品に長いリードタイムがかかるため、医療機関等がリードタイムを加味し、1日でも早い発注をすることにより、医療機器の安定供給を維持することが可能となる	.	✓	✓
	2	【納品スケジュールの厳格化】 納品スケジュールの厳格化により、納品遅延の発生率を低減させる	.	✓	✓
	3	【緊急発注の対応】 緊急発注に対応するための体制を整える	.	✓	✓
	4	【在庫の確保】 在庫の確保により、納品遅延の発生率を低減させる	.	✓	✓

(第10回回流改懇資料10ページ)

## 販売業の行動変容 集計結果 (リードタイム延長とその影響について)

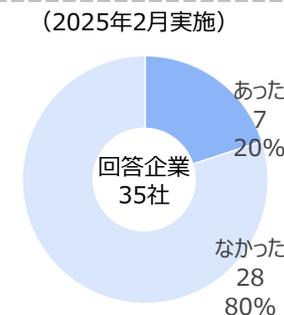
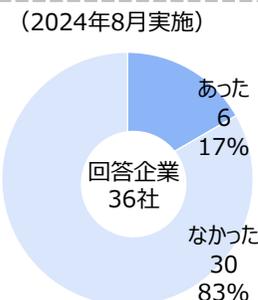
Q4: 医療機関からの発注から納品までのリードタイムは2024年3月以前に比べて変わりましたか

- 延長した
- あまり変わらない



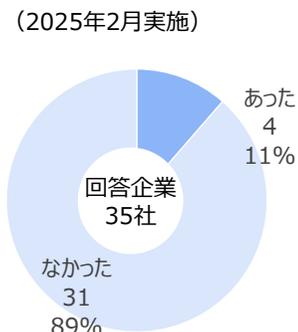
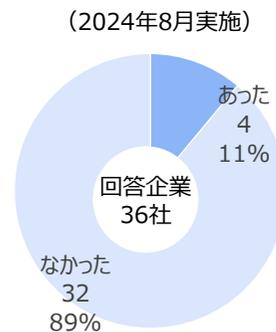
Q26: 物流2024年問題によるリードタイムの延長により、メーカーからの短期貸出・持込み品が間に合わなかった事例はありますか

- あった
- なかった



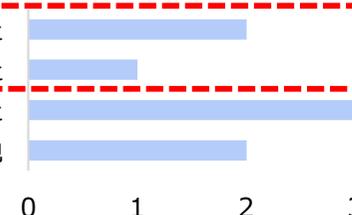
Q27: 物流2024年問題によるリードタイムの延長により、医療機関での診療（検査・手術など）に影響が出たことがありましたか

- あった
- なかった



Q27-②: 「1.あった」場合は具体例をあげてください

- 検査や手術の開始時間が遅れた
- 検査日や手術日が変更になった
- 代替品使用で対応した
- その他



リードタイムの延長は一部で顕在化し、その結果、短期貸出・持込みが間に合わなかったり、実際に診療に影響が及んだ事例があった

# 1. 物流2024年問題の影響について経過③

2024年問題に起因

すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
			製販/運送	販売	医療
<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸送品質が低下する</li> </ul>	2	<p>【納品ルールの緩和】 (時間指定や場所、軽微な箱汚れ、ロット指定等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厳しい納品ルール設けている場合においては、これを緩和することにより、<b>配送ルートの最適化等が可能となり、配送の効率化</b>に繋がる</li> </ul>	・	✓	✓

2024年4月に向けて取りうる対応策 (1/2)

物流2024年問題により医療機器業界において生じうる課題に対し、以下のような対応策が考えられるのではないかと。

すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
			製販/運送	販売	医療
<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸送品質が低下する</li> </ul>	1	【配送ルートタイム厳格化/早期発注】 現在の運用と比較して、医療機器の配送/納品に際しルートタイムの厳格化を図る。医療機器のルートタイムを厳格化し、さらにもっと早い発注を促すことにより、医療機器の配送/納品を確保することが可能。			✓
	2	【納品ルールの緩和】 (時間指定や場所、軽微な箱汚れ、ロット指定等) 厳しい納品ルールを設けている場合においては、これを緩和することにより、配送ルートの最適化等が可能となり、配送の効率化に繋がる。		✓	✓
	3	【輸送品質を確保するための在庫確保】 納品日数/在庫の確保/在庫の増設/在庫の増設/在庫の増設に際して、適正な在庫を確保することにより、納品遅延及び商品の半壊・破損に対応できる。		✓	✓
	4	【まとめ買いの促進】 発注時に必要な数量を把握した発注の依頼などにより、荷物の大きさ/重量/重量の軽減により、輸送効率の向上に繋がる。			✓

(第10回改訂資料10ページ)

## 販売業の行動変容 集計結果 (納品ルールの緩和について)

Q14: 2024年3月以前に比べて貴社では**メーカーからの着荷の受付時間のルール**を緩和しましたか

- 緩和した
- 変わらない
- もともと受付時間のルールはない (いつでも受取可)
- 厳しくした

(2024年8月実施)

(データなし)

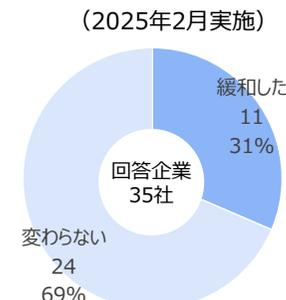


Q15: 2024年3月以前に比べて貴社では**メーカーからの着荷の入荷場所のルール**を緩和しましたか

- 緩和した
- 変わらない

(2024年8月実施)

(データなし)

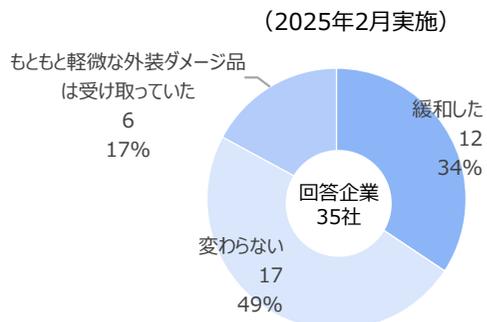


Q16: 2024年3月以前に比べて貴社において品質に問題のない**外装ダメージ製品 (外装の汚れ、軽微な凹みや 破れ等)**の受け取りに変化はありましたか

- 緩和した (軽微な外装ダメージ品は受け取るようになった)
- 変わらない (従来通り軽微な外装ダメージ品は受け取らない)
- 厳しくした
- もともと軽微な外装ダメージ品は受け取っていた

(2024年8月実施)

(データなし)



販売業者の入荷関連では物流2024年問題に向けて対応した企業はあるものの、過半数は従来のままであった

# 1. 物流2024年問題の影響について経過④

2024年問題に起因

	すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
				製販/運送	販売	医療
配送納品に対する影響	③ ・納品するタイミングの柔軟性が維持できなくなる	3	【緊急配送を増やさないための在庫確保】 ・納品日数が従来よりも延びることや緊急の手術・検査に備えて、 <b>適正な在庫を有することにより、納期延長及び緊急の手術・検査に対応できる</b>	✓	✓	✓
配送納品に対する影響	④ ・これまでと同じような <b>緊急配送が困難</b> となる	4	【まとめ買いの促進】 ・緊急時に必要な台数も見据えた発注の依頼などにより、 <b>前もっての大量購入を促進することで、発注回数・配送回数の減少</b> に繋がる		✓	✓

(第10回流改懇資料10ページ)

## 販売業の行動変容 集計結果 (在庫の確保について)

Q5：(通常在庫品について) 2024年3月以前に比べて貴社の**在庫量は増やしましたか**

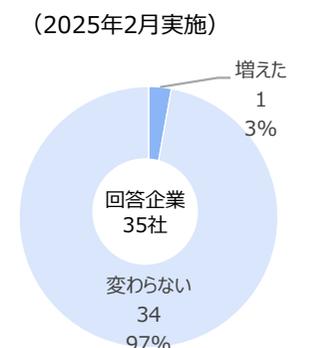
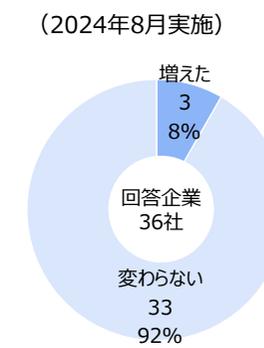
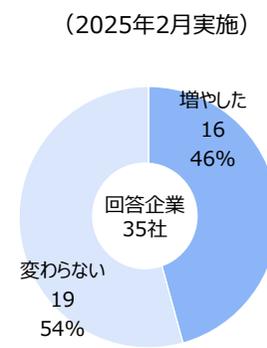
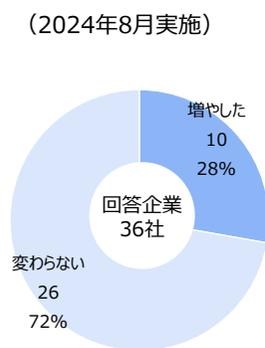
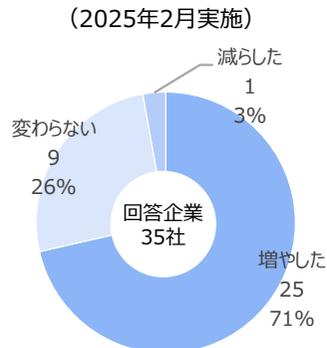
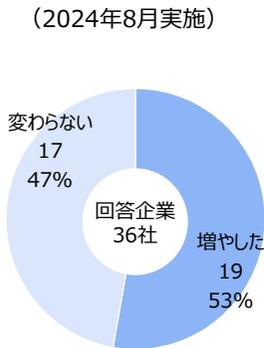
- 増やした
- 変わらない
- 減らした

Q7：(緊急対応品について) 2024年3月以前に比べて貴社の**在庫量は増やしましたか**

- 増やした
- 変わらない
- 減らした

Q19：医療機関への**納品の回数は2024年3月以前に比べて減少しましたか**

- 増えた
- 変わらない
- 減った



**販売業者は在庫を増やした企業が多く、その数は増えている**  
**販売業者が在庫を増やすことで当初想定された「物流2024年問題」の影響が大きく緩和されている可能性あり**

# 1. 物流2024年問題の影響について経過⑤

2024年問題に起因

すでに生じている/  
今後生じることが想定される課題

⑤

- 運送業者のコスト増及び運賃への転嫁により、医療機器の製造や販売に関わる企業の**物流コストが上昇**する

コストに対する影響

# 対応策

- ⑤
- 【コスト転嫁の受け入れ】**
- 昨今の物価や人件費の上昇に加え、2024年問題を起因として生じる配送（通常配送・緊急配送）における**コストの増加について、適切な価格転嫁等により、サプライチェーン全体でコストを負担していくことが重要**である
  - 価格交渉の申出があった場合には適切に応じ、**コストの上昇分を考慮したうえで、十分に協議を行い、適切な価格決定に取り組む**ことで、医療機器の製造や販売に関わる企業の経営が安定し、安定供給を維持することが可能となる

実施主体

製販/運送	販売	医療
✓	✓	✓

2024年4月に向けて取りうる対応策 (2/2)

物流2024年問題により医療機器業界において生じる課題に対し、以下のような対応策が考えられるのではないが、

すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体
⑤	5	【コストの増加の受け入れ】 • 昨今の物価や人件費の上昇に加え、2024年問題を起因として生じる配送（通常配送・緊急配送）におけるコストの増加について、適切な価格転嫁等により、サプライチェーン全体でコストを負担していくことが重要である • 価格交渉の申出があった場合には適切に応じ、コストの上昇分を考慮したうえで、十分に協議を行い、適切な価格決定に取り組むことで、医療機器の製造や販売に関わる企業の経営が安定し、安定供給を維持することが可能となる	製販/運送 販売 医療

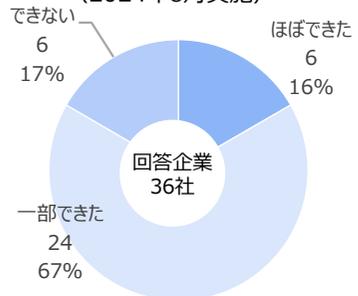
(第10回流改懇資料11ページ)

## 販売業の行動変容 集計結果 (価格転嫁について)

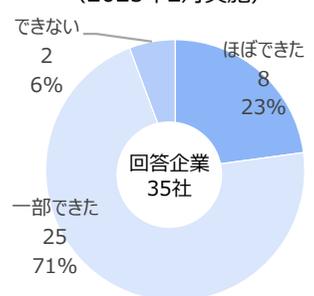
Q21：特定保険医療材料の価格転嫁はできましたか

1. ほぼできた 2. 一部出来た 3. できてない

(2024年8月実施)



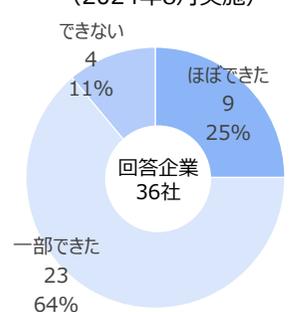
(2025年2月実施)



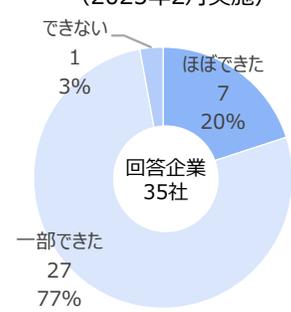
Q22：一般消耗品の価格転嫁はできましたか

1. ほぼできた 2. 一部出来た 3. できてない

(2024年8月実施)



(2025年2月実施)



Q21-②：「3.できない」場合の理由は何ですか

- 医療機関へ値上げに対する理解を得られない。競合他社との競争が激化
- **価格コンサル※からのベンチマークに合わせると、しつこく言われやむを得ず対応**
- **価格交渉の拒否・長期化・ベンチマークを盾にした高圧的な要求**が未だ続いている顧客がある
- 顧客からの抵抗
- 取引先からの了承が得られない
- 特にMCH購買代行、価格コンサル等のある医療機関で受け入れがしてもらいにくい
- 病院側で値上げを受け入れてもらえない

Q22-②：「3.できない」場合の理由は何ですか

- 医療機関へ値上げに対する理解を得られない。競合他社との競争が激化
- **価格コンサル※からのベンチマークに合わせると、しつこく言われやむを得ず対応**
- **価格交渉の拒否・長期化・ベンチマークを盾にした高圧的な要求**が未だ続いている顧客がある
- 顧客からの抵抗
- 取引先からの了承が得られない
- 特に●●（SPD事業者）、購買代行、価格コンサル等のある医療機関で受け入れがしてもらいにくい

※：「価格コンサル」＝「価格交渉代行業者」

**価格転嫁はできている企業は多いが十分とは言えない  
「できない」理由には価格交渉代行業者の影響が大きい**

# 1. 物流2024年問題の影響について経過⑥

社会情勢に起因

すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
			製販/運送	販売	医療
<p>⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料費高騰、原材料費高騰、人件費上昇等により製造コスト、物流コストが上昇する</li> </ul>	6	<p>【物流コストの見える化を促進する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取引先に対し、<b>物流コストに係る情報を適切に提供することで、情報の透明化</b>を行い、物流コスト上昇分についての適切な価格決定に向けて取り組むほか、<b>物流コスト削減（発注の大ロット化などの物流負担軽減）</b>に向けて取り組む</li> </ul>	✓	✓	・

(第10回流改懇資料11ページ)

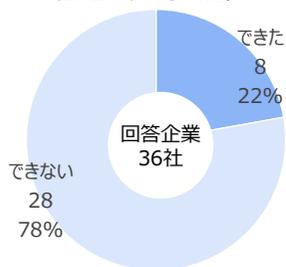
※物流コストなど、今後も引き続きアンケート調査を行い、経過を見ていきたい

## 参考 販売業の行動変容 集計結果（物流効率化・離島僻地について）

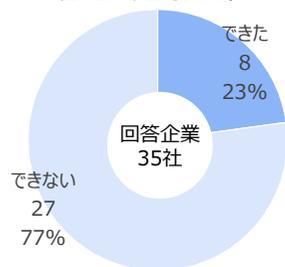
Q23：物流の効率化（DX、拠点数の増減、共同配送など）は図れました

1. できた 2. できてない

(2024年8月実施)



(2025年2月実施)



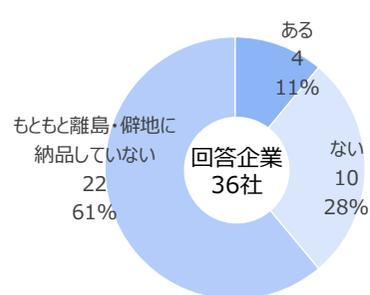
Q23-②：「1.できた」場合は具体例をあげてください

- ミルクラン集荷の対象メーカー拡大
- 物流センターの取り扱い施設を拡大
- ①RFIDの一部運用実装、②納品配送専用拠点の設置 ③同業者との共同配送
- 共同集配、定曜日発注、発注拠点の集約など
- 資本業務提携先との一部メーカーにおける共同配送
- 倉庫機能拡充 自動化推進 返却物品の共同配送
- 他ディーラーと一部共同配送を開始した
- 同業他社との共同配送の実現

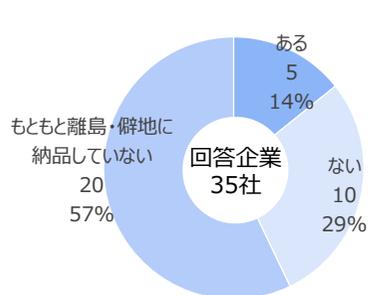
Q24：離島・僻地での新たな2024年問題はありますか

1. ある 2. ない 3. もともと離島・僻地に納品していない

(2024年8月実施)



(2025年2月実施)



Q24-②：「1.ある」場合は具体例をあげてくださいか

- 遠方（僻地）の得意先への定期配送による拘束時間の増加
- 仕入先からの商品の納期遅延及び入荷の時間指定ができなくなった
- 同業他社撤退により、当社在庫量・納品業務などの負担が増加
- 送料の値上げ
- 配送コストの上昇
- 輸送コストの問題

物流効率化は共同配送が多い  
DX化による物流効率化はあまり見られない  
離島僻地はリードタイムよりもコストの問題が大きい

# 1. 物流2024年問題の影響について経過⑦

医療機器業界の特性  
「起因」

すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
			製販/運送	販売	医療
<p>⑧</p> <p>• 販売業者等では、医療機器の適正使用のため、緊急対応等のサービス提供を行っているが、<b>医療機関等との契約を締結していない場合がある</b></p>	8	<p>【適正使用支援ガイドラインの活用】</p> <p>• <b>販売業者と医療機関等との間で、適正使用支援ガイドラインを活用し、適正な契約を締結する</b></p>	.	✓	✓

2024年4月に向けて取りうる対応策 (2/2)

物流2024年問題により医療機器業界において生じうる課題に対し、以下のような対応策が考えられるのではないかと。

すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
			製販/運送	販売	医療
<p>⑧</p> <p>• 販売業者等では、医療機器の適正使用のため、緊急対応等のサービス提供を行っているが、<b>医療機関等との契約を締結していない場合がある</b></p>	8	<p>【適正使用支援ガイドラインの活用】</p> <p>• <b>販売業者と医療機関等との間で、適正使用支援ガイドラインを活用し、適正な契約を締結する</b></p>	.	✓	✓

(第10回流改懇資料11ページ)

※ 1-2「適正使用支援ガイドライン普及状況について」より報告

# 1. 物流2024年問題の影響について経過⑧

2024年問題に起因

すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
			製販/運送	販売	医療
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配送に係るリードタイムが長期化する</li> </ul>	1	<p>【配送リードタイム延長を加味した早期発注】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の運用と比較して、医療機器の配送/納品に長いリードタイムがかかるため、<b>医療機関等がリードタイムを加味し、1日でも早い発注をすることにより、医療機器の安定供給を維持することが可能となる</b></li> </ul>		✓	✓

2024年4月に向けて取りうる対応策 (1/2)

物流2024年問題により医療機器業界において生じる課題に対し、以下のような対応策が考えられるのではないかと。

すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
			製販/運送	販売	医療
①	1	【配送リードタイム延長を加味した早期発注】 現在の運用と比較して、医療機器の配送/納品に長いリードタイムがかかるため、医療機関等がリードタイムを加味し、1日でも早い発注をすることにより、医療機器の安定供給を維持することが可能となる。		✓	✓
	2	【納品スケジュールの厳格化】 納品スケジュールを厳格化し、ロット指定等を行うことにより、医療機関等がリードタイムを加味し、1日でも早い発注をすることが可能となる。		✓	✓
	3	【納品スケジュールの柔軟性向上】 納品スケジュールが厳格化している場合においては、柔軟な対応を行うことにより、医療機関等がリードタイムを加味し、1日でも早い発注をすることが可能となる。		✓	✓
	4	【発注のタイミングの最適化】 発注のタイミングを最適化し、医療機関等がリードタイムを加味し、1日でも早い発注をすることが可能となる。		✓	✓

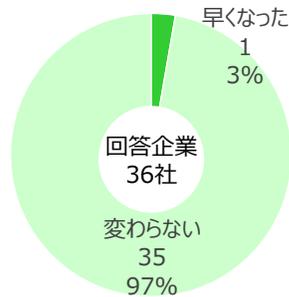
(第10回流改懇資料10ページ)

## 医療機関の行動変容 集計結果 (リードタイムとその影響について)

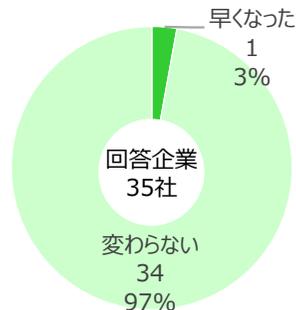
Q3: 病院からの発注は2024年3月以前に比べて早くなりましたか

1. 早くなった
2. 変わらない
3. 遅くなった

(2024年8月実施)



(2025年2月実施)



医療機関の発注や在庫関連での行動変容はほとんど確認できなかった

# 1. 物流2024年問題の影響について経過⑨

すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
			製販/運送	販売	医療
② • 輸送品質が低下する	2	<b>【納品ルールの緩和】</b> <b>(時間指定や場所、軽微な箱汚れ、ロット指定等)</b> • 厳しい納品ルール設けている場合においては、これを緩和することにより、 <b>配送ルートの最適化等が可能となり、配送の効率化に繋がる</b>	•	✓	✓

2024年4月に向けて取りうる対応策 (1/2)

物流2024年問題により医療機器業界において生じうる課題に対し、以下のような対応策が考えられるのではないか。

すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
			製販/運送	販売	医療
②	2	<b>【配送ルートタイムスケジュールを緩和した早期発注】</b> ・ 現在の運賃と比較して、医療機器の配送/納品に際してルートタイムがかかるため、医療機関がルートタイムを緩和し、早期でも納品を希望することにより、医療機関の在庫供給を維持することが可能 <b>【納品ルールの緩和】</b> <b>(時間指定や場所、軽微な箱汚れ、ロット指定等)</b> ・ 厳しい納品ルールを設けている場合においては、これを緩和することにより、配送ルートの最適化等が可能となり、配送の効率化に繋がる <b>【緊急配送を確保するための在庫確保】</b> ・ 納品日割が従来の1.5倍に引き上げることや緊急の手前・搬送に備えて、適正な在庫を有することにより、納期延長が緊急の早納・後納に対応できる <b>【その他の対応策】</b> ・ 緊急時に必要な在庫を確保した際の依頼に応じ、前もっての在庫購入を促進することで、緊急対応・在庫確保の減少に繋がる	•	✓	✓

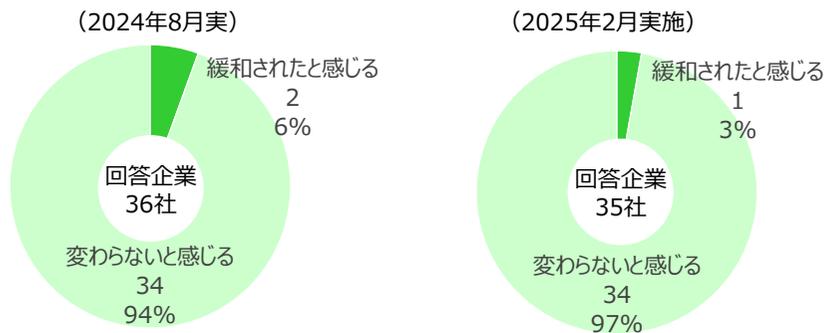
(第10回改訂資料10ページ)

## 医療機関の行動変容 集計結果 (納品ルールの緩和について)

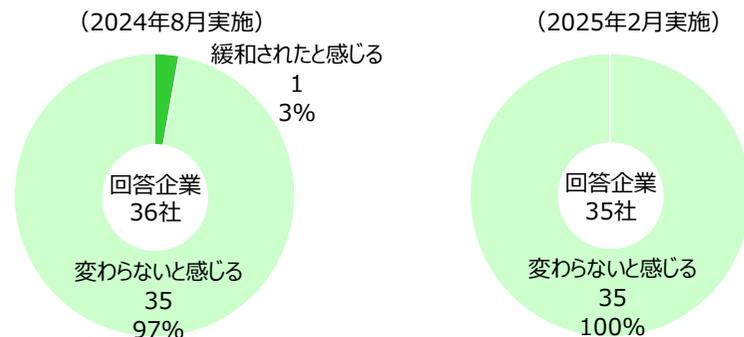
Q9・10・11・12 : 2024年3月以前に比べて納品時間が厳しい医療機関において納品のルール (時間・場所・方法・ロット等のルール) が緩和されたと感じますが

1. 緩和したと感じる      2. 変わらないと感じる      3. もともと厳しい医療機関はない

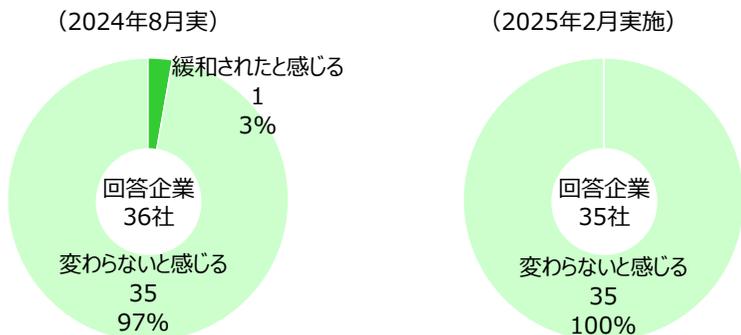
### 納品時間について



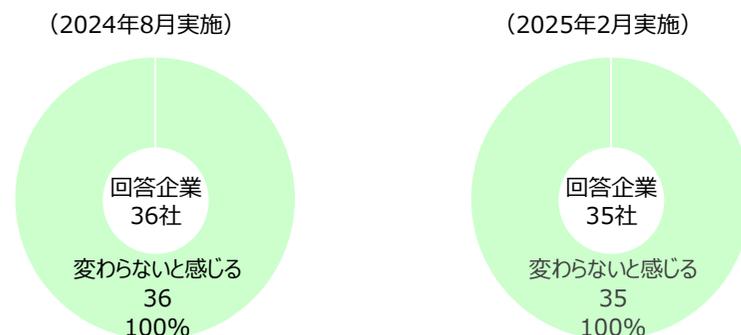
### 納品場所について



### 納品方法について



### ロット等ルールについて



# 1. 物流2024年問題の影響について経過⑩

2024年問題に起因

すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
			製販/運送	販売	医療
② ・輸送品質が低下する	2	【納品ルールの緩和】 (時間指定や場所、軽微な箱汚れ、ロット指定等) ・ 厳しい納品ルール設けている場合においては、これを緩和することにより、 <b>配送ルートの最適化等が可能となり、配送の効率化に繋がる</b>	・	✓	✓

2024年4月に向けて取りうる対応策 (1/2)

物流2024年問題により医療輸送業界において生じる課題に対し、以下のような対応策が考えられるのではないかと。

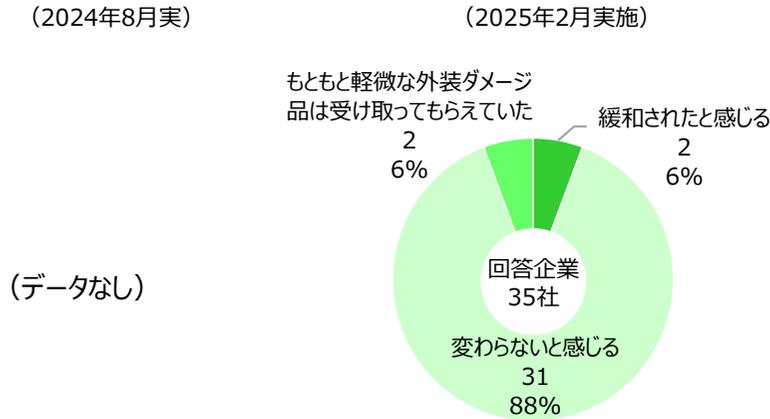
すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
			製販/運送	販売	医療
② ・輸送品質が低下する	2	【配送ルートタイム厳格化を前提とした早期発注】 ・ 現在の運賃と比較して、医療輸送の配向/納品に異なりタイム枠が広がる。早期発注のルートタイムを確保し、不足でも早い納品をすることで、医療機関の在庫供給を維持することが可能。 【納品ルールの緩和】 【時間指定や場所、軽微な箱汚れ、ロット指定等】 ・ 厳しい納品ルール設けている場合においては、これを緩和することにより、配送ルートの最適化等が可能となり、配送の効率化に繋がる。 【輸送品質を確保するための在庫管理】 ・ 納品日付が定まらぬ遅延による発注の手前・搬送に際して、適正な在庫を有することにより、納期延長が緊急の準備・対応に対応できる。 【まとめ買いの促進】 ・ 緊急時に必要な在庫を把握した発注の依頼などにより、買切での大量購入を促進することで、発注回数・発注量の減少に繋がる。	・	✓	✓

(第10回回流改懇資料10ページ)

## 医療機関の行動変容 集計結果 (納品ルールの緩和について)

Q13: 2024年3月以前に比べて医療機関において品質に問題の無い外装ダメージ製品 (外装の汚れ、軽微な破れ等) 受け取りに変化はありましたか

1. 緩和したと感じる (軽微な外装ダメージ品を受け取ってもらえるようになった)
2. 変わらないと感じる (従来通り軽微な外装ダメージ品は受け取ってもらえない)
3. 厳しくなったと感じる
4. もともと軽微な外装ダメージ品は受け取ってもらえていた



出典: 日本メドトロニック(株)HP掲載写真 (※現在、使用承諾確認中)



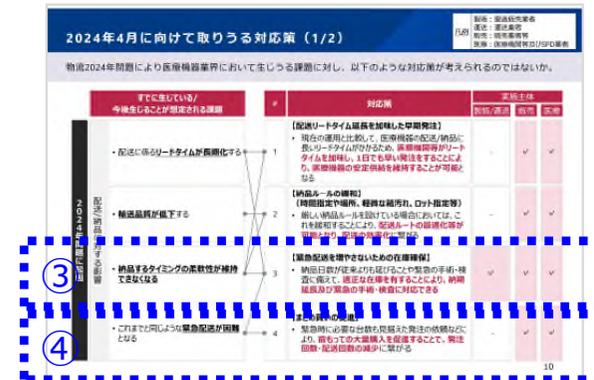
出典: 日本ベクトン・ディッキンソン(株)HP掲載写真 (※現在、使用承諾確認中)

メーカーからも外装箱及び製品箱の出荷基準等の案内が出されているが納品ルールの緩和はほとんど見られない

# 1. 物流2024年問題の影響について経過⑪

2024年問題に起因

	すでに生じている/ 今後生じることが想定される課題	#	対応策	実施主体		
				製販/運送	販売	医療
配送納品に対する影響	③ ・納品するタイミングの柔軟性が維持できなくなる	3	【緊急配送を増やさないための在庫確保】 ・納品日数が従来よりも延びることや緊急の手術・検査に備えて、 <b>適正な在庫を有することにより、納期延長及び緊急の手術・検査に対応できる</b>	✓	✓	✓
2024年問題に起因	④ ・これまでと同じような <b>緊急配送が困難</b> となる	4	【まとめ買いの促進】 ・緊急時に必要な台数も見据えた発注の依頼などにより、 <b>前もっての大量購入を促進することで、発注回数・配送回数の減少</b> に繋がる	・	✓	✓



(第10回流改懇資料10ページ)

## 医療機関の行動変容 集計結果 (在庫の確保について)

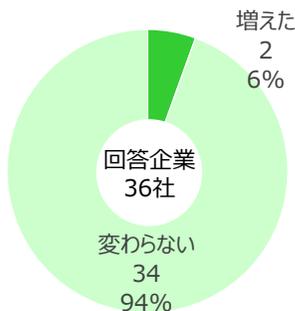
Q6 (通常在庫品について) 2024年3月以前に比べて医療機関でのまとめ買いは増えましたか

1. 増えた
2. 変わらない
3. 減った

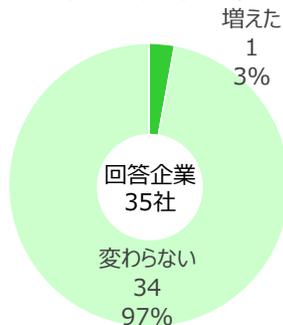
Q8 : (緊急対応品について) 2024年3月以前に比べて医療機関でのまとめ買いは増えましたか

1. 増えた
2. 変わらない
3. 減った

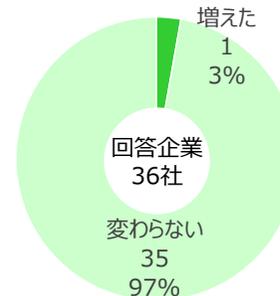
(2024年8月実施)



(2025年2月実施)



(2024年8月実施)



(2025年2月実施)



医療機関の発注や在庫関連での行動変容はほとんど確認できなかった

# 1. 物流2024年問題の影響について経過⑫ まとめ

<p><b>現状</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「医療機関等が取りうる対応策」※に明記されている事項について、現状は全て実行できているとは言えない</li> <li>✓ リードタイムの延長は一部で顕在化し、短期貸出・持込みが間に合わなかったり、実際に診療に影響が及んだ事例があったが、販売業の努力により大きな混乱には至らなかったと思われる</li> </ul> <p style="text-align: right;">※ 次頁【参考資料】参照</p>
<p><b>今後</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ トラックドライバー等の減少は続いており、リードタイムはますます長期化する傾向にあるのではないかと懸念</li> <li>✓ 依然として、人件費・流通コストが上昇傾向は変わらず、販売業の努力だけでは限界があり、メーカー・医療機関の協力が不可欠となる</li> </ul>
<p><b>課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 販売業者が在庫を増やし対応することで全体として大きな問題は生じなかった一方で販売業の在庫量は非常に増えていて、いずれ限界を迎えることが危惧される</li> <li>✓ 物流2024年問題に対して示された「医療機関等が取りうる対応策」はどのようにすれば取られるのか医療機関が納品の受け入れや納品ルールの緩和を認められるにはどうしたらよいか</li> </ul>
<p><b>要望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 厚生労働省には「医療機関が求められる対応」について再度通知をお願いしたい</li> <li>➤ 医療機関に対しては、通知に沿った対応・行動をお願いしたい 「一日でも早い発注、適正な在庫確保、納品ルールの緩和、コスト転嫁の受入れ」</li> </ul>

# 【参考資料】「医療機関等が取りうる対応策」

## 厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課長通知

### 『医療機器に係る物流 2024 年問題等により生じうる課題と対応策について』より

医政産情企発 1214 第 1 号  
令和 5 年 12 月 14 日

各 { 都道府県  
保健所設置市  
特別区 } 衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課長  
（公印省略）

#### 医療機器に係る物流 2024 年問題等により生じうる課題と対応策について

我が国では、働き方改革の一環として労働基準法（昭和 22 年法律第 49 号）を改正し、時間外労働の上限を法律に規定し、令和元年 4 月（中小企業は令和 2 年 4 月）から適用している。自動車運転の業務においては、時間外労働の上限の適用が 5 年間猶予されているが、令和 6 年（2024 年）4 月以降、特別条項付き 36 協定を締結する場合の年間の時間外労働の上限が年 960 時間となる予定である。自動車運転の業務に係る時間外労働の上限規制等の見直しに伴い生じうる、いわゆる物流 2024 年問題により、医療機器業界にもその影響が及ぶ恐れがある。

ついては、物流 2024 年問題により医療機器業界に生じうる課題と対応策について下記のとおり取りまとめたので通知する。

#### （3）医療機関等が取りうる対応策

##### ① 配送リードタイムの延長等を踏まえた早期発注

医療機器の発送から納品までにこれまでより長い時間がかかることが想定されるため、配送リードタイムを踏まえて 1 日でも早く発注することにより、必要な医療機器の確保に努める。

##### ② 納品ルール緩和

時間指定や場所、軽微な箱汚れ、ロット指定等についての納品に何らかのルールを設けている場合は、これを緩和し、配送の効率化を行う。

例えば、時間指定については「午前中の配達以外は受け取らない」といった対応を行わないこと、軽微な箱汚れや軽微な外装の破損であって内部の製品には影響がない場合には返品しないこと、ロット指定については納品される医療機器についてこれまでよりも使用期限が短い場合であっても使用期限が一定期間ありその間に使用することが可能と想定される場合には返品しないことなどが考え得る。

##### ③ 適正な在庫確保

販売業者等からの納品日数が従来よりも延びることに備えて予め必要となる数量を見据えた在庫を有することにより、配送リードタイムの延長に対応する。

##### ④ まとめ買い促進

一定期間内に必要となる数量や緊急時に必要な数量も見据えて、必要な数量をまとめて販売業者等へ発注することで、発注回数及び配送回数を減らす。

##### ⑤ 適切な価格決定

販売業者等から物流コストの増加に伴う価格交渉の申出があった場合には適切に応じ、コストの上昇分を考慮した上で、十分に協議を行い、適切な価格決定に取り組む。

##### ⑥ 適正使用支援ガイドラインの活用

医療機器の持続可能かつ安定的な供給を行うために、販売業者等による医療機器の適正使用支援業務について、適正使用支援ガイドラインを活用し、販売業者等と医療機関等の間で透明性の高い適正な契約を締結する。

## 2. 適正使用支援ガイドライン普及状況について①

### 【振り返り】 適正使用支援ガイドライン普及状況

- ✓ 「取引の透明性」と「持続的な医療機器の安定供給」を目的として、**2023年10月23日ガイドラインを発出、2024年4月1日施行**
- ✓ 第9回・10回流改懇においても「適正使用支援ガイドライン」が報告され、厚生労働省による通知内に対応策の一環として本ガイドラインの活用が謳われている
- ✓ **全国での説明会の開催や説明ビデオの視聴を通じて会員企業に周知を図り、施行後の普及状況を把握するため3度にわたりアンケート調査を実施**した

### ➤ 会員企業へのアンケート集計結果より

#### <適正使用支援ガイドライン普及状況アンケート>

回答方法：WEB回答方式（FAXやメールによる回答も可）

##### 【第1回】 2024年9月実施

- 対象企業：医器販協会員企業830社
- 回答企業：**157社（回収率約19%）**

##### 【第2回】 2025年2月実施

- 対象企業：医器販協理事・監事企業36社、会員企業801社（合計837社）
- 回答企業：理事・監事企業30社、会員企業162社  
**合計192社（回収率約23%）**

##### 【第3回】 2025年8月実施

- 対象企業：医器販協理事・監事企業39社、団体長企業25社（合計64社）
- 回答企業：理事・監事企業38社、団体長企業21社  
**合計59社（回収率約92%）**

## 2. 適正使用支援ガイドライン普及状況について②

### 【預託在庫管理】

Q1：貴社と取引のある病院数を教えてください

Q3：現時点で預託在庫を実施している病院数を教えてください

Q5：現時点の預託在庫に関する覚書を締結した病院数を教えてください

【第3回】2025年8月実施アンケート結果より

図1 取引のある病院数

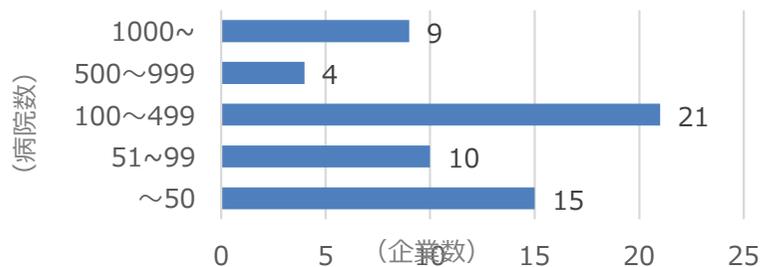


図2 預託在庫をしている企業数および割合

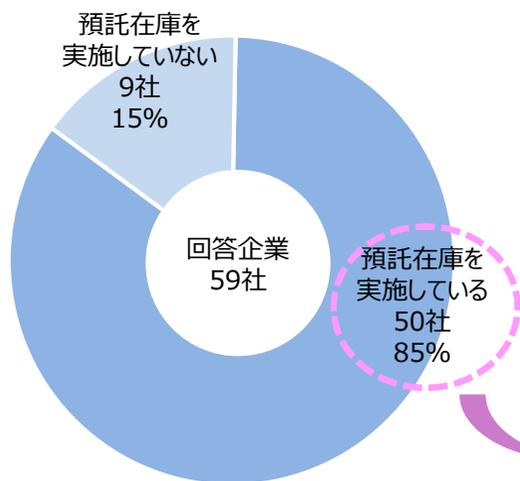


図3 預託在庫をしている病院数

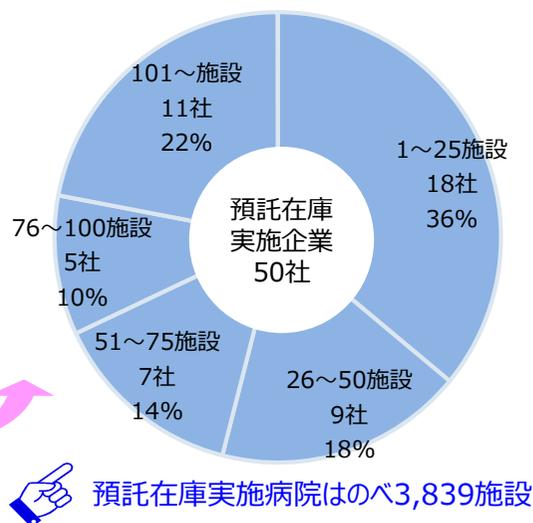


図4 預託在庫に関する覚書の締結病院数

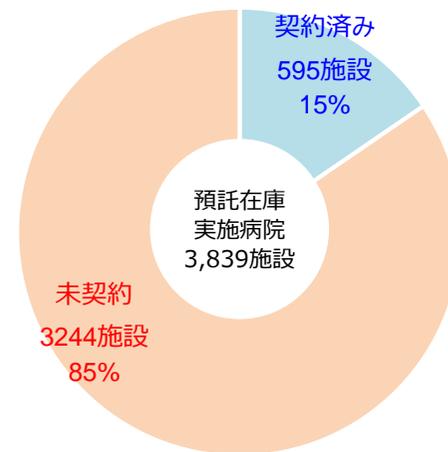
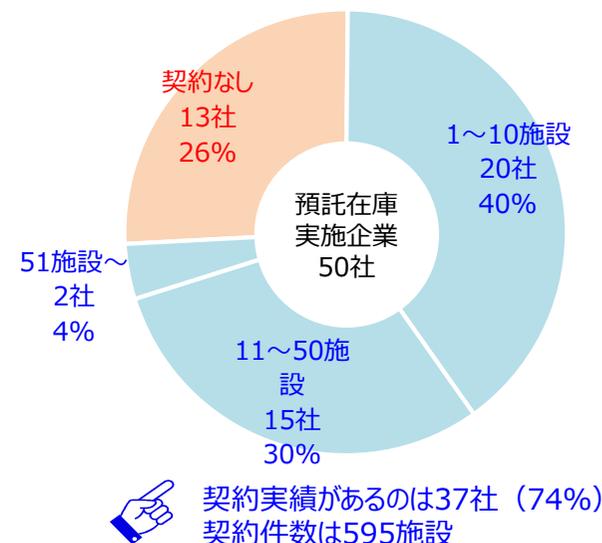


図5 預託在庫に関する覚書の締結企業数



預託在庫を実施している企業のうち、4分の3の企業で契約実績はあるが、病院ベースでみた場合では15%にとどまっている

## 2. 適正使用支援ガイドライン普及状況について③

### 【夜間休日対応】

【第3回】2025年8月実施アンケート結果より

- Q1：貴社と取引のある病院数を教えてください  
 Q6：夜間休日対応を日常的に行っている病院数を教えてください  
 Q7：現時点の夜間休日対応に関する覚書を締結した病院数を教えてください

図1 取引のある病院数

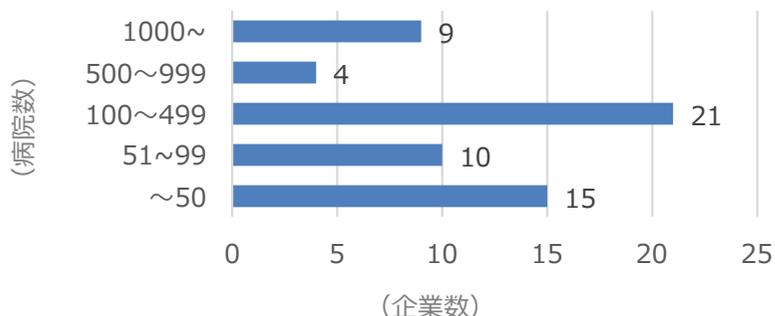


図2 夜間休日対応をしている企業数および割合

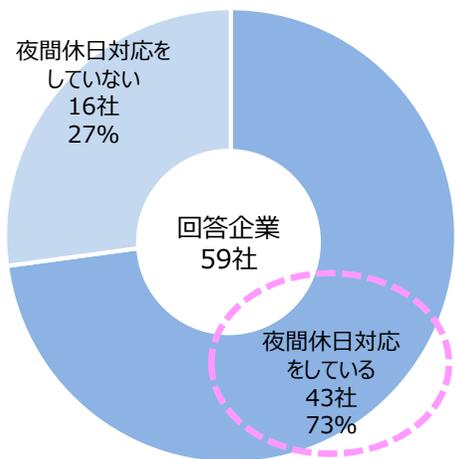


図3 夜間休日対応を日常的に行っている病院数

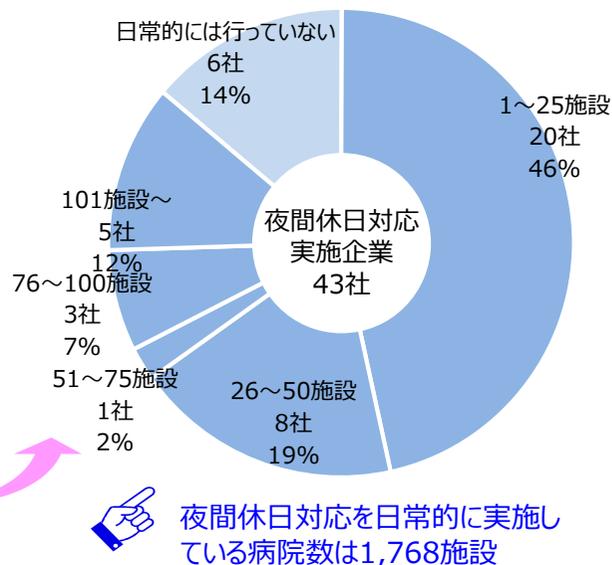


図4 夜間休日対応に関する覚書の締結病院数

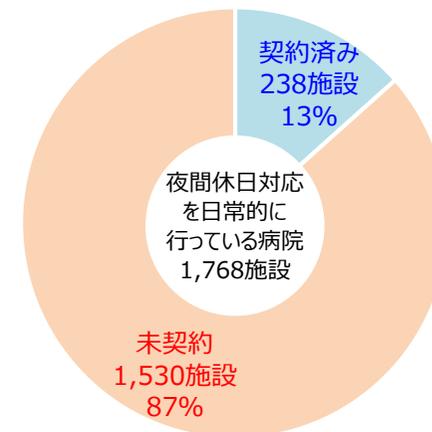
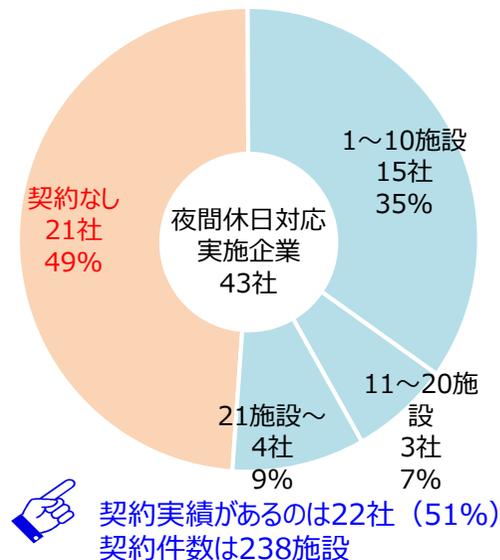


図5 夜間休日対応に関する覚書の締結企業数



契約実績のある企業は約半数にとどまっている

## 2. 適正使用支援ガイドライン普及状況について④

### 【自由記載コメントより】

【第3回】2025年8月実施アンケート結果より

Q8：適正使用支援ガイドライン覚書の締結に関してお困りのことがありましたら自由にご記入ください

#### 寄せられたご意見のまとめ

- ✓ 販売業者の**足並みが揃っていない**
- ✓ 病院の**理解が得られない**
- ✓ 夜間休日対応は追加の**費用が発生するのでハードルが高い**
- ✓ 何度も交渉をしているが**契約締結に至らない**
- ✓ 協会に**更なる推進を要請したい**



- ・ある程度契約が進んでいるが、まだ十分とは言えず、業界側の努力と医療機関側のさらなる理解が必要になる
- ・今後、好事例が出てきたら横展開し契約に結び付けていきたい

## 2. 適正使用支援ガイドライン普及状況について⑤ まとめ

### 課題

- ✓ 預託在庫を実施している企業のうち、4分の3の企業で契約実績はあるが、病院ベースで見た場合では15%にとどまっている
- ✓ 夜間休日対応は、契約実績のある企業が約半数にとどまっている
- ✓ ある程度契約が進んでいるが、まだ十分とは言えず、業界側の努力と医療機関側のさらなる理解が必要になる
- ✓ 医療機関側も経営状況が厳しい

### 対応

- ✓ 協会としては、2025年10月～12月を推進期間とし、再度周知および締結促進活動を実施している
- ✓ 今後も定期的な調査を続けていきたい

### 要望

- ✓ 透明性の高い取引と安定供給の継続のために売買契約書の締結推進し、医療機関への更なる理解に向け、行政からの通知発信など後押しもお願いしたい